

**単施設用**

( 調査 ・ 研究 ) 実施についてのお知らせ

令和 4 年 8 月 25 日

**【研究課題名】**

冠動脈CTモーション低減ソフトsnapshot freeze1とsnapshot freeze2の比較

**【研究期間】**

調査対象期間：2022年1月1日～2022年10月31日

研究実施期間：研究機関の許可日～2022年10月31日

**【研究対象】**

2022年1月1日～2022年10月31日に冠動脈CT検査を行った患者様の画像データ

**【研究目的・意義】**

冠動脈 CT 検査は、カテーテル治療や冠動脈バイパス術の術後、術前の検査として用いられています。また、三大死因疾患の一つに心疾患があり冠動脈疾患の早期発見に冠動脈 CT 検査は有用である検査です。しかし、元々CT 検査は動きに弱く心臓という自律している臓器を検査するには可能な限り動きを抑制させる必要があります。この時、画像処理によって動きによるアーチファクトを抑制させるのが GE 社の snapshot freeze という画像処理ソフトです。snapshot freeze は心拍動や不整脈などといった動きを補正し画像を鮮明にするソフトです。本研究の目的は、snapshot freeze2 のモーションアーチファクト抑制の有用性を旧式の snapshot freeze1 と比較しながら解明していく事にあります。

**【研究方法】**

冠動脈CT撮影を行った方のカルテ情報、画像情報を用いてデータを収集、抽出を行います。

**【研究に用いられる試料・情報の種類】**

以下の情報を診療録（電子カルテ）から抽出します。

年齢、性別、体重、使用した薬剤、造影剤注入条件、HR、不整脈の有無、冠動脈CT値、病歴

**【試料・情報の二次利用】**

本研究で取得した試料および情報の利用は、別の新たな研究に利用する可能性があります。

**【個人情報の取扱い】**

本研究で得られた個人情報は、外部に漏れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者の氏名および生年月日などは一切公開しないこととします。電子的データ収集 (electronic data capture:EDC) という方法でデータを電子記録し匿名化したうえで保管します。

**【本研究の資金源 (利益相反)】**

ありません。

**【本研究に関する問い合わせ先】**

沖縄県立中部病院 診療科名：放射線技術科 担当者名：瑞慶山良史  
沖縄県うるま市字宮里 281 番地  
TEL：098-973-4111 (代表)

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、上記の問い合わせ先にお問い合わせください。